



Serve to Change Lives

ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区



2021-2022年度 10月号



中村八幡宮の「流鑄馬」(真岡市指定有形文化財)

江戸時代、仙台藩主伊達吉村が参勤交代の際に、中村八幡宮に「神馬」を奉納したことがきっかけで、例大祭で「流鑄馬」が行われるようになった。1189年奥州遠征の際、領主中村宗村は中村八幡宮に戦勝祈願をし、その際の功により、奥州伊達郡の地頭職を授かり、伊達に移住、伊達氏の祖となった。

Contents

ガバナーメッセージ.....	2	8月会員数報告.....	12
米山月間に因んで.....	3	ロータリアンの皆様へ.....	13
佐賀・長崎豪雨災害(2021年8月)支援金送金報告...	4	新入会員紹介・物故会員.....	14
ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより.....	5	コーディネーターニュース.....	14
クラブ米山委員長研修会議ご報告.....	10	2021-2022 地区内主要行事.....	15
第25回インターアクト年次大会報告.....	11	地区大会開催のご案内.....	16



「経済と地域社会の発展月間」・ 「米山月間」に寄せて

国際ロータリー第2550地区 2021-22年度ガバナー

石田 順一 (真岡ロータリークラブ)

めっきり秋を感じる季節となりました。

7月から始めた公式訪問も、新型コロナウイルスによる感染拡大により、途中から会長幹事懇談会のみで開催に変更させていただき、時間的制約のある中対応頂いた皆様に感謝申し上げます。

さて、今月は「地域社会の経済発展」と「米山月間」です。私たちは、それぞれの地域で地域リーダーの育成を応援しています。

2014年10月RI理事会は「経済と地域社会の発展月間」としました。貧困地域の経済発展を目的とした起業家、地域社会のリーダー、地元経済団体を含む地域ネットワークの構築、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の解消、経済と地域社会に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間です。

ロータリアンは「人」に投資し、地域社会や人々の暮らしに持続可能で測定可能な改善をもたらし、地域社会の経済発展を促すため、「貧しい地域社会の経済発展を促すための人々の能力・スキル向上」のため、世界の各地でさまざまな取り組みを実施しています。

現在、新型コロナウイルスの影響を受け世界のGDPの落ち込みは険しさを増しております。経済を動かすように国及び地方自治体は様々な対応を行っているものの、感染制御と経済の両立は一筋縄ではいかないようです。社会が集合、近接、閉鎖された環境下での人と人とのつながりが経済に多大な影響を与えており、群れ集まる社会(コミュニティー)がいかに地域経済のエネルギーとなっていたかを感じさせます。世界的に見ますと、貧困と不安定な経済は世界平和の混乱を招きます。低所得の発展途上国にとって、地域経済は国の経済発展の根幹と言えます。我々も職業奉仕が基盤となっていることを再認識して、正しく奉仕する事を自覚するべきかも知れません。

10月が米山月間になった理由がありました。米山梅吉翁の命日(4月28日)にちなんで、4月に「米山週間」が設けられていましたが、1983年10月に「米山月間」となりました。その主な理由は、米山奨学会の理事会、評議員会(8月末)の直後で、事業報告書など最新の資料を提供できる時期にあたるから、と言うことでした。特別な由縁のある月ではありませんが、米山奨学事業を考える機会のひとつとして、各クラブでプログラムを組んで頂くことになっています。

米山奨学生と直接触れ合う機会の少ない地区のロータリークラブの皆様にも、米山月間の10月には米山奨学生による卓話をしていただくと良いと思います。米山奨学生に選ばれますと、色んな責務がありますが、その内の一つがこの卓話です。お世話クラブでの卓話は勿論のこと、お世話クラブ以外のクラブでも卓話をすることで、地区の全てのロータリークラブ及び会員皆様からの暖かいご支援やご協力に、感謝と御礼の意を伝えることができるのです。

米山奨学事業は、全国全ての会員が参画する多地区合同奉仕事業であることにご理解をお願い致します。



ロータリー米山記念奨学会の現状と今後の活動計画

RI2550地区R米山記念奨学会委員長
長 正 英

米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業であります。特長としまして世話クラブカウンセラー制度があります。

ここで米山とは、皆さんご存じの通り1920年、日本で初めての東京ロータリークラブを創設した米山梅吉さんのことです。米山さんは、1868年(明治元年)の生まれです。米山さんは、子供のころから学業優秀、向上心が強く20歳でアメリカに留学しました。今でこそ外国に留学するということは、それほど難しいことではございませんが、当時としては、ものすごく大変なことだったと思います。米山さんは8年間アメリカで2つの大学を大変苦学しながら卒業し、帰国後日本で実業家として成功した方です。ご自身が、大変苦勞された経験から当時アジアから日本に留学する学生を私費で支援していました。

1945年太平洋戦争終戦を迎えたわが国では、依然として解散状態にあったロータリークラブは、しばらくの間不遇の時を耐えていましたが、誰よりもその復活を心待ちにしていた米山さんが他界したのは1946年(昭和21)4月28日でした。

奇しくもその翌年の1947年1月27日国際ロータリーの創始者ポール・P・ハリスもまた逝去しています。二人は同じ1868年に生まれており米山さんは生前、そのことに対して格別の親しみを感じていたということです。ポール・P・ハリスの死後、世界のロータリアンの間では彼の功績を記念して奉仕事業を起こそうという機運が生まれ、ロータリー財団の国際奨学制度が誕生していました。

1949年(昭和24)切望されていたロータリークラブがRIへの復帰を果たします。日本のロータリアンたちは、復帰を心から喜びましたが、同時に、米山さんがそれを見届けることがかなわなかったことが悔やまれました。ポール・P・ハリスの死後に国際奨学制度が発足されたこともあり、日本でも、米山さんの偉業を記念する事業を創設しようという声が大きくなっていきました。1950年ロータリー財団奨学生第一号として清水長一氏が渡米したことは日本のロータリーの復帰と発展の兆しを象徴するような喜ばしい出来ごとでした。1951年のサンフランシスコ講和条約締結により日本の国際社会への復帰が現実のものとなり、その後も日本のロータリーも着実に成長の道を進んでいくことになっていきます。そして1952年東京ロータリークラブの古澤丈作会長(栃木県西方村出身)によって米山記念奨学会の前身である「米山基金」が設立されました。

これまでに129カ国から21,624人(2021.1現在)の奨学生を支援し、規模と実績ともに民間で最大の留学生奨学団体となっています。

2019-20年度の寄付金は13億3,632万円と前年度から約7,500万円減少となりました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症による全国的な例会休会、また、経済活動の抑制による景気悪化などの影響を受け、大幅な寄付金減となりました。一方、奨学生は増えているため、奨学金支出が増加しました。当地区は、会員一人当たりの寄付金額では毎年、全国34地区中10位以内を維持しております。今年度地区目標としまして、会員一人当たり19,000円と石田ガバナーから設定していただきました。

2019年度より「業務委託・覚書」の締結が始まりました。米山財団と地区ガバナー、そして地区ガバナーと世話クラ

米山月間に因んで

ブあるいはサブ世話クラブの間での、覚書の締結については、内閣府の指導によるものですが、業務についての変更はございません。

次に、奨学生について説明します。

まず、年度初めの7月に地区米山委員会で指定校(大学)を決めさせてさせていただきます。8月より学内での選考をしていただき、応募される学生に対し12月には書類選考・面接試験を行い、全国一律の基準に基づいて合格者を決めていきます。海外から日本に留学することも大変な決意が必要かと思えます。大学内でも多数の留学生在籍し、その中から選ばれ、そして我々選考委員の書類選考、面接をクリアした学生です。選ばれるポイントとしましては熱意と優秀性が重要ですが、とにかく熱い学生が、選ばれております。大学を卒業したら、米山学友として日本と世界の懸け橋になってほしい、なっていくたいというお話がありますが、懸け橋とは、やはり人と人のつながりだと思えます。奨学生になると、皆さんのおつきあいが始まりますが、1年あるいは2年、この短い期間にいかにか私たちロータリアンと信頼関係を築き、そしてどんな人間に育ってもらえるか、が米山奨学会の使命だと思えます。一般的な奨学金制度ですと、奨学金を支給し、頑張って勉強してね、で終わるところを、この制度には、カウンセラー、そして皆様ロータリアンの大きな力が加えられます。そして、世界に羽ばたきリーダーシップを発揮してもらうことにより、世界平和を目指そうという思いが私たちの願いです。ぜひ、このようなイメージをお持ちいただき、奨学生に対し、適切なアドバイス、おつきあいをお願いしたいと思います。

また、毎年ご寄付のお願いを申し上げますが、この金額により、2年後の地区内で採用できる学生の数が決まります。細かい内容については、「米山事業豆辞典」、「ハイライトよねやま」「米山記念奨学会HP」などをご覧くださいご理解を深めていただければ幸いです。

今年度RI会長シェカール・メータさんの方針の中にもありますが、「夢は大きく」と考えます。そして、米山奨学会に寄付することは、やはり「誰かのためにと奉仕する気持ち」の一つだと思えます。米山奨学会の対象は外国人ですが、その人たちを育て、その人たちに、世界で活躍してもらうことが私たちの希望です。

今後の活動計画についてですが、3つお示ししたいと思います。一つ目は、会員一人当たり19,000円を最低ラインとしてご寄付をお願いします。二つ目、世話クラブ、サブ世話クラブをお受けいただいたクラブでは、今まで以上に活動を活発化されるようお願いいたします。三つ目、いろいろな事情で世話クラブ、サブ世話クラブをお受けいただけなかったクラブには、奨学生並びに地区委員の卓話の機会を作っていただくようお願いいたします。ガバナー事務所あるいは、地区委員に直接ご連絡いただければと思います。

「みんなの人生を豊かにするために、そしてより活性化するために」一年間ご協力をお願いいたします。

佐賀・長崎豪雨災害(2021年8月)支援金送金報告

平素より地区運営にご理解とご協力を賜り有難うございます。

過日、皆様に標記の支援金をお願い致しましたところ、43クラブより1,600,000円のご寄付が集まりました。

国際ロータリー第2740地区佐賀・長崎豪雨災害支援本部に9月22日、送金させて頂きました。

被災地の方々の一日も早い復興を祈念しますとともに、皆様のご協力に感謝申し上げます。

有難うございました。

国際ロータリー 第2550地区
ガバナー 石田 順一

7/30^金 小山東ロータリークラブ

会長 石川 雅也
幹事 嶋田 政利



2021-2022年度ガバナー公式訪問を令和3年7月30日(金)第2550地区ガバナー石田順一様、第5グループガバナー補佐小浦正久様をお迎えして開催いたしました。

当クラブからは、会長・幹事、会長エレクト・幹事エレクトの4名が出席し、6名で和やかな雰囲気懇談会を進めることができました。

会長幹事懇談会では、初めにクラブの実情をガバナーにお伝え、第5グループの現状などをガバナー、ガバナー補佐と確認

しました。

会員増強について、当クラブの苦戦している実情を踏まえ、ガバナーからいろいろなアドバイスをいただくことができました。地区目標の純増2名を実現するために、クラブPRも重要なことなのでFacebookなど活用して若い会員や女性会員の増強に結び付けていくとよいことをご指導いただきました。また、地区目標にも掲げた「四つのテスト」の歴史をご指導いただき、素晴らしさをガバナーと共有することができました。当クラブでも「四つのテスト」は、フォーラム等でテーマに掲げディスカッションを行っていたところですが、社会奉仕事業(後に述べさせていただきます)、米山奨学会・ロータリー財団への寄付等についての重要性や地区補助金を利用した奉仕活動の状況、周年事業の実績や予定などご説明させて戴きました。クラブ財政など正直にお話を差し上げました。懇談会は限られた時間ではありましたが屈託の無い内容の濃い懇談会を行うことができました。懇談会を終え、今年度のクラブ会長・幹事として、会員と共に1年間活動する礎ができました。石田ガバナーありがとうございました。

クラブ例会においては、ガバナーには卓話をいただき、ありがとうございました。シェカール・メータRI会長のテーマをお聞かせいただき、会員増強に対する強い思いが伝わりました。ガバナーからはビジョン声明のための行動計画についてのお話を沢山いただきました。難しいお話もございましたが、会員一同、より良いクラブ創りに力を注いで参りたいと思います。今後とも宜しく願い申し上げます。

最後になりますが、コロナ感染症拡大の状況下、已む無く例会数の減少や事業活動の自粛を強いられて、思うようにロータリー活動が出来ませんが、この状況下であるからこそ創意工夫が必要で、今後、例会や各種事業計画のあり方にも変革の時が来ているような気がしております。

石田順一ガバナーにおかれましては、猛暑の中、公式訪問が続くことと存じますが、健康に御留意いただきたいと願います。本日は、小山東ロータリークラブを公式訪問賜り誠に有り難うございました。1年間よろしく願い申し上げます。

<我がクラブの奉仕事業>

クラブ奉仕事業について、当クラブでは永年、小中学生の安心安全に少しでもお役に立ちたいとの思いから小中学校の要望を受け、登下校時の「見守り活動者用の大型横断旗」や「子ども避難の家プレート」などの寄贈を実施してまいりました。また、近年は子供の貧困問題に目を向けており、貧困や虐待、障害などで支援を必要とする子どもたちを支援する団体に少しでもお役に立ちたいとの思いから寄付などを行っております。この事業は今後も継続できることを願っています。

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

7/27(火) 葛生ロータリークラブ

会長 中野 勇夫
幹事 関塚 保雄



2021年7月27日(火)石田順一ガバナー、三好仁ガバナー補佐をお迎えし当クラブ例会場にてコロナ禍の中、感染防止を徹底しながら公式訪問が行われました。

石田順一ガバナーを出迎え、公式訪問カーの前での写真を1枚。バナー交換の時に1枚。マスクを一時外しましたが、感染防止のため無言にての撮影になりましたが会員との全体集合写真も撮る事が出来ました。懇親会では、中野勇夫会長、永井治寿副会長、関塚保雄幹事の三名と、会員増強や米山奨学会寄付金、ロータリー日本財団寄付、MYROTARY登録について、ご指導を

いただき大変有意義な時間となりました。また、昼食も懇親会場にて間隔をあけて鰻のお弁当をおいしくいただくことが出来ました。

例会では、石田順一ガバナーのご挨拶をいただき、映像を見ながら貴重な卓話をいただきました。石田順一ガバナー、三好仁ガバナー補佐、御多忙にも関わらずご来訪誠にありがとうございました。

8/5(木) 宇都宮陽南ロータリークラブ

会長 江口 亜子
幹事 小田総一郎



8月5日(木)石田順一ガバナー、渡邊有規ガバナー補佐、ガバナー随行2名をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。緊急事態宣言が栃木県に発出される前でしたので、会長幹事懇談会と、食事を伴わずに例会まで行うことができました。オープンディスカッションは行いませんでしたが、たいへん実りある例会となりました。

石田ガバナーから、2021-2022年度RI会長のテーマを、日本、とりわけ栃木県で活動している我々にとってわかりやすく解説、今年度のガバナーメッセージ・地区方針・目標をご教示いただきました。

当クラブは昨年度25周年を迎えました。今後、「今まで蓄積した特出したコンテンツ」を最大限に活かして、実りある活動を行いたいと思います。数年間継続してきた活動も、昨年度できなかったものがありました。今年もイベントなどへの参加を通しての活動は、情勢によっては難しくなるかもしれません。奉仕活動について会員同士よく話し合い、社会に役立つ活動を、親睦を深めることができるやり方で行えるよう研究したいと思っています。石田ガバナーのメッセージ「未来のクラブを描きましょう」に触発され、今年のクラブ方針を「活動を通して会員相互の親睦を深め“クラブの未来”を語りましょう」とさせていただきます。変化する世の中で、ロータリーの精神を忘れずに活動していくために、未来を語り、共有する一年にしたいと思っています。

また、長期計画として子供たちへの支援活動があります。地区補助金を申請した活動もあります。継続している活動とは別に、ひとつのクラブだけではできない支援もあり、啓もう活動から始めています。これらを実現するために、他クラブとの連携も考え、前向きに取り組んでいきます。引き続きよろしくお願いいたします。

今年の活動方針を次のようにしました。

- 1.例会の充実を図る
- 2.会員増強と退会防止に努める
- 3.各委員会の活動を活性化する
- 4.IMを成功させる

社会情勢により活動に影響が出ることは、ある程度覚悟しつつ、魅力ある例会になるようプログラム委員会と連携し、実りある活動ができるよう各委員会も気持ちを新たにに取り組んでいきます。

8/4水 小山北ロータリークラブ

会長 福地 博行
幹事 板橋 智



本年度8月4日の公式訪問に向けて例会場にも協力いただき、コロナ感染対策を万全に講じたうえで石田順一ガバナー様をお迎えする事が出来ました。コロナ禍と言う事もあり、直前でのオープンディスカッションの中止等、公式訪問プログラムの組み直しを必要とされながらも、多くの会員が出席し、大変有意義な公式訪問を行えたものと感じております。懇談会につきましては時間を早め開催したにも関わらず、質問事項が多く終了時間を超過してしまい、石田ガバナー様には大変ご苦勞お掛け致しました。質問

が多いと言う事は、会員のロータリー(クラブ)に対する意識が高い為であると捉え、何卒ご容赦下さいませ。本紙には余白の都合上質問事項の記載は控えさせていただきますが、当クラブが直面している問題、課題について直球で質問し、その質問に対し適切な回答を得る事が出来ましたので、今後の活動に活かして参りたいと存じます。

続いて本年度の事業計画ですが、以下に要約させていただきます。尚、余白の都合上、一部の事業計画のみ記載させていただきます。

<我がクラブの奉仕事業>

1.【栃木県立小山西高等学校 『キャリアアクションプロジェクト』支援】

本来であれば昨年度、当クラブで一年交換留学生の受け入れが予定されていた為、留学生の通学先として『小山西高等学校』に相談し承諾を得ておりましたが、コロナ感染症の拡大の影響を受け、昨年に続き本年度も見送りとなってしまいました。

次年度以降を見据え、当クラブと小山西高等学校との良好な関係を保つ為、上記のプロジェクトへの支援を申し出ました。当プロジェクトは2018年度に開始された試みで、生徒の進路意欲を向上させる事を目的とした研修プログラムとなります。職業奉仕、又は青少年奉仕の観点より、当プロジェクトへの支援を行いたいと考えております。

2.【『ドナルド・マクドナルド・ハウスとちぎ』への支援】

当施設は自治医科大学病院の南側に位置しており、その主な役割は、遠方から自治医科大学病院 小児科病棟に入院される子供の親族に対し、安価に提供される滞在施設となります。その活動財源のほとんどが寄付やボランティアでなっております。現在ではその名前も広く知れ渡るに至っておりますが、実情を伺ったところ、ボランティアの不足、活動資金(寄付)の不足は深刻な問題との事でした。当クラブでは継続的に当施設との交流を図って参りましたが、コロナ禍の現状、人的支援(ボランティア)は困難な為、寄付にて支援したいと考えております。

3.【『第27回小山北ロータリークラブ杯 少年柔道大会』の開催】

毎年2月頃、小山市、野木町、下野市、栃木市の小学生以下を対象に開催している柔道大会となります。昨年度はコロナ感染拡大の影響により中止となりましたが、今年度は状況を鑑みながら、開催も視野に入れ開催に向けて計画しております。

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

8/12^木 大田原ロータリークラブ

会長 田平 隆司
幹事 小西久美子



8月12日(木曜日) 大田原ロータリークラブ例会場所である黒羽の「ホテル花月」に石田順一ガバナーをお迎えし、公式訪問が開催されました。

大田原RCの会員全員でガバナーをお迎えするのを楽しみに準備を進めておりましたが、新型コロナウイルスの影響で栃木県に3度目の緊急事態宣言が発令されることとなり、残念ながら、石田ガバナー、富田ガバナー補佐、真岡RC随行者2名、大田原RC会長、幹事の6名での懇談会となりました。

懇談会では、国際ロータリー会長シェカール・メータ氏のテーマに基づき、「奉仕活動」と「会員増員」などの件につき、かなり掘り下げたご指導を頂き、意見交換ができたのではないかと考えて

おります。

私は特に、「ロータリークラブにおける奉仕」と「退会者のないクラブ造り」を目指しており、石田ガバナー及び富田ガバナー補佐、小林、市村随行者の方々から貴重な体験談をお聞きする事ができました。

「奉仕活動」となると、とかく大きな事を目指しがちですが、今年度はもっと地域密着型の奉仕活動にも目を向けてみたいと考えております。

2週間前の富田ガバナー補佐訪問の際にも、非常に有意義な卓話をいただき、今回の石田ガバナー公式訪問で更に、クラブ活動に勇気を頂いた思いです。

石田ガバナー、富田ガバナー補佐、ご多忙にもかかわらずご来訪ありがとうございました。

8/18^水 鹿沼東ロータリークラブ

会長 鈴木 和也
幹事 篠原 尉浩



8月18日(水) 鹿沼商工会議所会頭室にてガバナー公式訪問を開催しました。

当日は、まん延防止等重点措置中で、2日後には緊急事態宣言が発令されるなかでの開催で例会は行わず、石田順一ガバナー、野本ガバナー補佐、随行者2名をお迎えし、会長、幹事、副会長、副幹事の計8名での懇談会を行いました。

現況報告書のクラブ事業計画に沿って今年度の説明を行い、奉仕プロジェクトにおいては、インターアクトクラブである鹿沼南高等学校の生徒達に野菜を育てて頂き、子ども食堂に新鮮な野菜を提供すること。また児童養護施設への支援。中学1年生に向けての職業探し(マイリサーチ)等の計画を予定している事の報を

行いました。しかしながら、コロナ禍での行事開催の判断の難しさも懸念されるところでもあります。

その他、スマイル会計での意見交換、会員増強への取り組みなど活発な懇談が出来ました。なかでも今年度の会長方針である「仲間をふやそう」のもと純増2名が目標ですが、10名増強出来たらガバナー賞を受賞できるとの事。この様に、和やかに意見交換が出来ました。

お帰りの際、特別仕様のガバナーカーには参加者皆、驚愕し「この車に乗っていたら、交通違反やマナー違反は絶対できないよね」と話していました。有意義な懇談会が出来た事、心より感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

8/19^木 氏家ロータリークラブ

会長 永井 孝叔
幹事 大古 秀子



8月19日11:00より石田順一ガバナー、渡邊佳寛幹事、真岡ロータリークラブ50代会長岡本俊夫氏をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

今年度は、新型感染症禍の訪問により時短での公式訪問と成りました。

会談内容は、基本的なロータリアンの資質や心得等、4つのテストについて再確認の重要性を原点とし、談話されました。

当クラブとしまして、上記のテストの確認向上の為、全会員に額縁付きの標を作成する運びと成り、理事会で承認される運びと成りました。

又、会員増強、退会防止対策、社会奉仕等、様々な広範囲多岐に渡る懇談を行い、情報交換と指導を賜り実りのある会談でありました。

会員増強は、長年の悩みである課題と持続可能な発展を概念としてすべてのクラブの苦慮する共通の打破する壁となっております。

又、それと共に現在世界的猛威のコロナ禍での例会の在り方が問われておりますが、オンライン例会の導入、推進は、効率的で進んで有効であることを改めて認識いたしました。

石田ガバナー他、ご参加頂きました各位には、全会員心より厚く感謝申し上げます。

<氏家ロータリークラブ奉仕事業>

さくら市の郷づくり事業計画を推進する為、当クラブの協同活動を目指す事業。単年度事業ではなく、複数年事業となるので、市との協議を実施しながらの継続事業となる計画見込みです。事業の基本理念、基本目標、プラン整備、施工管理等は当事業計画書に基づき参加協力する予定です。

8/23^月 佐野ロータリークラブ

会長 戸叶 覚
幹事 安藤 知彦



コロナ禍で緊急事態宣言が出されていることもあり、昨年同様今年度も、当クラブの例会なしで会長幹事懇談会のみ開催となり寂しいお出迎えとなりました。石田順一ガバナー、第9グループ三好ガバナー補佐、真岡RCより随行者2名をお迎えし、会長・幹事をはじめクラブより5名参加で写真撮影、バナー交換ののち、懇談会を開催いたしました。

三好ガバナー補佐の司会の元、戸叶会長より歓迎のことば、石田ガバナーよりご挨拶をいただき、安藤幹事より現況の報告をしたのち、和やかな雰囲気の中で意見交換ができ、大変有意義な時間となりました。特に当クラブでマイロータリーへの登録状況は8月末

現在会員55名中16名であり29%と地区平均より約10%下回っており、地区目標の70%までは程遠い現状ではありますが、60歳未満や入会10年未満の会員に重点的に登録するように声掛けをし、例会内で説明や個別で入力支援をして、ひとまず登録50%を目標に進めていきます。また、クラブセントラルも未入力の状況ですが、コロナ禍をチャンスにとらえ、入力をして少しでも活用していきたく考えます。

本来であれば例会やオープンディスカッションの中でも、会員一人ひとりと忌憚のないやり取りがあったでしょうが、残念でなりません。ガバナーもさぞかし無念であったろうと推察いたします。

石田ガバナーにおかれましては、お忙しいところ当クラブまで足を運んでいただきまして、心よりお礼申し上げます。特にクラブ長期計画にかかわる会員増強の話や、今後起こりうるハラスメントに対して細心の注意を払うようアドバイスをいただきましたことを、今後のクラブ運営に対して生かしていく所存です。

クラブ米山委員長研修会議ご報告

地区米山記念奨学会委員長 **長 正 英** (宇都宮陽北RC)

2021年7月18日(日)宇都宮市ホテルニューイタヤにおきましてクラブ米山委員長研修会議を開催いたしました。

毎年この会議は、8月に開催し、新年度のクラブでの活動報告をしていただいたり、奨学生の卓話を披露してもらったりしてまいりました。

今年度も、新型コロナウイルスの影響で、3月の地区研修協議会が開催できず、分科会において米山奨学会について詳しくお話をさせていただくことが出来なかったため、なるべく早くご理解いただけるよう、例年より一か月ほど早く開催しました。地区研修協議会の内容を、いわゆるハイブリット型での開催とさせていただきます。Zoomでの参加は28クラブ、その他のクラブにおいては会場にお越しいただきました。

最初に、石田順一ガバナー並びに栃木秀磨地区米山カウンセラーよりご挨拶いただきました。次に私から、「クラブ米山委員長の役割、奨学会の概略について」お話をさせていただきました。

続いて、米山奨学生3名に卓話をお願いし、カンボジアの民族演奏も披露させていただきました。

そして米山資金推進委員会(坂寄修一・宇都宮西RC)より、「寄付増進について」、米山選考委員会(田島良久・馬頭小川RC)より、「奨学生選考について」どのような学生をどのように選考しているのかを解説、最後に、米山学友委員会(児玉博利・宇都宮さつきRC)より「学友会活動・危機管理について」それぞれ詳しくお話しさせていただきました。

質疑応答では、会場から、Zoom参加の皆様からも多くの質問があり活発な協議が行われました。

今後もこのようなZoomなどを活用した会議が行われるのかなと思いますが、できれば早く会場で顔を合わせた会議が開催されることを願っています。

まだまだコロナ禍が続くと思われていますが、今年度も、23名と多くの奨学生を受け入れております。ご寄付はもちろん、米山奨学生を温かくご指導いただければ幸いです。



第25回インターアクト年次大会報告

地区インターアクト委員長 **藤島 拓** (宇都宮南RC)

2021年8月9日(月)、栃木県立黒磯高等学校にて第25回インターアクト年次大会が開催されました。

今年は、「輝け!～未来へのバトン～」のテーマの下、黒磯高校IACのホスト、黒磯RCがスポンサーとして執り行われました。

コロナ感染防止対策として安全に開催するために、昨年と同様に、ホスト高校関係者及び地区役員以外は、オンラインでの参加となりました。

地区内16のIACより101名のインターアクターおよびロータリアンがオンラインで参加し、石田ガバナナー・川嶋カウンセラーをはじめ黒磯RCのロータリアンは高校で参加いただき、総勢168名の参加者により、午前9時より午後1時まで、式典と基調講演及び活動報告等が行われました。

開会式は、黒磯高校21-22年度会長佐々木結楽さんの歓迎の辞で始まりました。「輝け!～未来へのバトン～」を大会テーマにした経緯を話し、「コロナに負けないように、今できる事を皆で考えましょう、そして未来にバトンを繋ぎましょう」と問いかけました。

続いて、ホスト校の伊澤雅幸学校長、スポンサークラブの荒牧明二会長より歓迎のあいさつがありました。

石田ガバナナーは、来賓あいさつの中でシェカール・メータRI会長のメッセージを紹介して、「真に人として正しい生き方は、自分以外に思いを寄せ少しでもお役に立ちたいと立ち振る舞う事だと思います」と奉仕の心の大切さを述べました。

また、川嶋カウンセラーは、コロナ過の様な大変な時こそ「あきらめない事」「負けないと思う事」が大切だと述べて、両者ともインターアクトのこれからの活躍に期待されました。

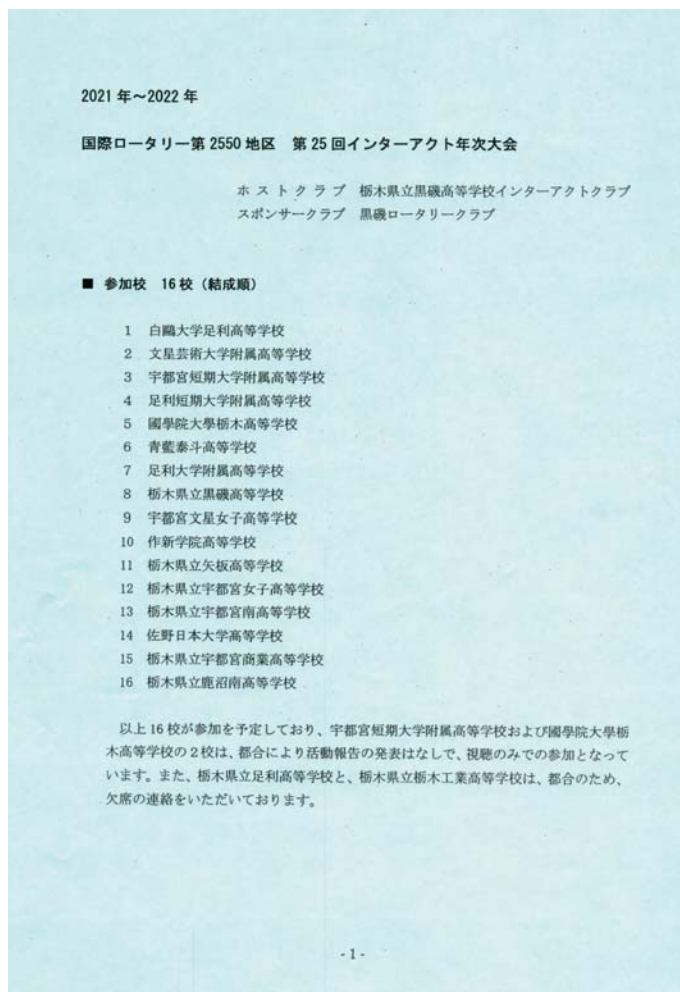
開会式後の研修は2部構成で行われました。

研修Iでは、東洋大学名誉教授石井晴夫先生による講演が行われました。

演題は「水と環境と食料問題について考えるーインターアクトはSDGsを牽引するー」で、国連が持続可能な世界を目指し採択した17のゴール(目標)の中で、人類が生きて行く上で欠かせないものであり、平和な世界にするために最も重要なものである「水・食料問題」と人類の活動を持続可能なものにするために重要な「環境問題」を90分という限られた時間でしたが、わかりやすく説明していただきました。

ロータリーは、世界で最も支援が必要とされる人道的ニーズは何かを考え、長期的な変化をもたらすために、特に6つの分野に重点を置いて活動していますが、その中の一つに「水と衛生」があり、「環境」は新たに重点分野に追加された活動です。

今回の講演で、ロータリーも国連も世界の平和を目指して活動している事を学んで、今後のインターアクトの活動で、より良い世界、より



第25回インターアクト年次大会報告

平和な世界を実現するためには何が必要で、どんな取り組みをして行けば良いのか考えるきっかけになったと感じました。

また、研修Ⅱでは「各学校の活動報告と今後の活動予定」が発表されました。

各高校とも、昨年からのコロナ感染症拡大の影響で、感染防止対策として学校が休校になったり、オンライン授業になったり、人との接触の自粛が求められたためインターアクト活動がストップしてしまいましたが、その様な苦しい中でも、できる事を考え、感染拡大が収束した時

に何を活動するかを考えるなど、未来に向かって前向きに取り組んでいる姿勢を強く感じ取る事ができました。

高校生のあきらめない無限の力の素晴らしさを感じ取る事ができました。

コロナ過の中の真夏の暑い一日でしたが、これよりも暑いインターアクターの心に触れ、ロータリアンとして新たなエネルギーをいただいたとともに、青少年育成の重要性を再認識致しました。

最後になりますが、年次大会の開催にあたり、ご指導、ご支援いただきました関係各位に対し厚く感謝申し上げます。インターアクト年次大会の報告と致します。



8月会員数報告

	クラブ名	例会数	会員数									
			7月	今日	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	40歳未満	
第1グループ	大田原	1	29	29	0	0	0	0	0	1	0	
	黒磯	2	36	37	0	0	1	0	1	2	1	
	西那須野	2	47	47	0	0	1	1	0	2	0	
	黒羽	2	7	7	0	0	0	0	0	0	0	
	大田原中央	0	24	24	0	0	0	0	0	1	2	
第2グループ	鳥山	1	17	16	0	0	0	1	-1	2	0	
	氏家	2	24	24	0	0	0	0	0	2	0	
	矢板	2	10	10	0	0	0	0	0	1	0	
	馬頭小川	3	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	高根沢	1	15	15	0	0	0	0	0	0	0	
第3グループA	宇都宮	3	101	102	0	0	1	0	1	2	1	
	宇都宮西	1	75	76	1	0	1	0	1	0	1	
	宇都宮北	1	43	43	0	1	1	1	0	0	0	
	宇都宮90	0	46	46	0	0	0	0	0	6	1	
	(宇都宮90結・衛星)	1	6	6	0	0	0	0	0	4	2	
第3グループB	宇都宮陽北	1	46	46	0	0	0	0	0	9	8	
	宇都宮東	4	112	113	4	3	4	3	1	0	4	
	宇都宮南	3	54	55	0	0	1	0	1	5	0	
	宇都宮陽東	1	49	49	0	0	0	0	0	8	1	
	宇都宮陽南	1	24	24	0	0	0	0	0	7	4	
宇都宮さつき	1	25	25	0	0	0	0	0	4	3		
第4グループ	真岡	1	57	57	0	0	0	0	0	0	0	
	益子	3	28	28	0	0	0	0	0	2	1	
	真岡西	1	35	36	0	0	2	1	1	5	0	
	しもつけ	1	20	19	0	1	0	1	-1	3	1	

	クラブ名	例会数	会員数									
			7月	今日	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	40歳未満	
第5グループ	小山	2	22	22	2	2	3	3	0	1	0	
	小山南	2	15	14	0	1	0	1	-1	2	0	
	小山東	1	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	小山中	1	24	24	0	0	0	0	0	0	4	
	小山中	1	24	24	0	0	0	0	0	0	2	
第6グループ	栃木	2	46	49	0	0	3	0	3	5	0	
	栃木西	2	34	34	0	0	0	0	0	1	0	
	岩舟	2	11	11	0	0	0	0	0	0	0	
	壬生	0	20	20	0	0	0	0	0	2	0	
	栃木南	3	36	36	0	0	0	0	0	6	1	
第7グループ	日光	2	21	21	0	0	0	0	0	4	0	
	鹿沼	4	62	62	0	0	0	0	0	2	4	
	今市	2	41	42	0	0	1	0	1	1	0	
	鹿沼東	2	37	37	0	0	0	0	0	5	0	
	鹿沼中央	0	17	17	0	0	0	0	0	2	0	
第8グループ	今市きぬ	1	27	28	0	0	1	0	1	0	0	
	足利	0	21	21	0	0	0	0	0	0	1	
	足利東	3	34	34	0	0	0	0	0	4	0	
	足利西	1	11	11	0	0	0	0	0	1	0	
	足利わたらせ	1	35	35	0	0	0	0	0	0	0	
第9グループ	佐野	1	55	55	0	0	0	0	0	0	0	
	葛生	0	39	37	0	1	1	3	-2	0	0	
	田沼	2	43	43	0	0	0	0	0	0	0	
	佐野東	0	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	48RC		1668	1674	7	9	21	15	6	104	40	

(メイクアップは同じ年度内に行うことができるようになった為、地区では各クラブごとの出席率は掲載いたしません。)

ロータリアンの皆様へ。個人用ロータリーカードをご活用ください。

ロータリークラブでは、ロータリアンの皆様の社会貢献を支援するため、ロータリーカードへの入会をご案内しています。日常のお支払いの中でロータリーカードをご利用いただくと、個人へのポイント還元に加え、ご利用額の0.3%を自動的にポリオ撲滅の活動資金とすることができます。券面にはロータリークラブのマークが表示されるほか、ロータリーダイナースクラブカードには、国際ロータリーの会員IDと会員番号が刻印されます。ロータリアンの証のひとつとして財布に1枚お持ち頂いてはいかがでしょうか。

・個人用ロータリーカードの種類

個人用には、オリコからスタンダードマスター、ゴールドマスターの2種類、ダイナースクラブから1種類が提供されています。ダイナースクラブカード会員に限り、ビジネス・アカウントカードを追加で発行することも可能です。

	名称	画像	年会費（税込）	ローターへの還元額	個人へのポイント還元	備考
オリコ	ロータリーインターナショナルスタンダードマスターカード		永年無料 本人・配偶者	0.3%	1,000円で 1スマイル (5円相当)	
	ロータリーインターナショナルゴールドマスターカード		11,000円 本人・配偶者	0.3%	1,000円で 1スマイル (5円相当)	旅行傷害保険、ショッピングガードなど付帯
ダイナース	ロータリーダイナースクラブカード		本会員 24,200円 家族会員 5,500円	0.3%	100円で 1ポイント (0.3～1円相当)	ダイナースクラブカードと共通の豊富な特典
	ロータリーダイナースクラブビジネス・アカウントカード		個人カードに追加してお持ちいただけます 年間手数料 2,200円	0.3%	100円で 1ポイント (個人カードと合算できます。)	法人口座等の設定が可能、利用代金明細を分けられます。

ロータリーカード会員の皆様には、一般と同様に各社のサービスや特典が適用されます。特に、ダイナースクラブカードは、エグゼクティブダイニングや手荷物無料宅配、空港ラウンジなどのサービスが充実していることから人気があるようです。

まだマスター、ダイナースのカードブランドをお持ちでない方は、この機会にぜひ入会をご検討ください。日常のお買い物やお支払いにご活用頂くだけで、個人のポイントの他に、カード会社より0.3%をポリオ撲滅活動資金に充てることができます。

また、すでに上記のブランドをお持ちの方でも、ロータリー会員の証としてお持ち頂き、ロータリー活動のなかで「年次基金への寄付」のほか、「ポール・ハリス・ソサエティー会員として例えば毎月10,000円をカードで自動引落する」などにご活用頂くことをご提案したいと思います。

特典やお申し込み方法などの詳細は各社のサイトをご覧ください。

オリコ 検索は「オリコ ロータリークラブカード」

<https://www.orico.co.jp/merchant/rotary/>

ダイナース 検索は「ダイナース ロータリークラブカード」>「個人用カードはこちら」

https://www.diners.co.jp/ja/entry_form/lp/rotary/kojin.html

地区ロータリー財団委員長 森本 敬三
ロータリーカード地区推進委員
ポリオプラス並びに資金推進委員長 村井 邦彦

新入会員紹介・物故会員



戸田 泰裕

宇都宮東RC
2021年8月10日入会

ネクスト・ワン法律事務所
代表弁護士

よろしくお願ひ致します。



永井 泰幸

宇都宮東RC
2021年8月31日入会

ビー・エス・エヌ
代表

再入会です。初心に戻ってロータリー活動に励みたいと思っております。



木平 健

宇都宮東RC
2021年8月24日入会

医療法人健和会
緑の杜クリニック 理事長

出身は練馬ですが、栃木の生活が40年になります。宜しくお願ひ致します。



沼尾 明弘

今市RC
2021年9月8日入会

沼尾デンタルクリニック
院長

至らぬ点も多々あるかと思いますが、御指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

訃報 ご冥福をお祈りいたします



伴 清

宇都宮東RC
2021年8月27日逝去
(享年79歳)
1971年11月2日入会

ロータリー歴

クラブ 1981-82年度 幹事
1995-96年度 会長
地区 1999-02年度 ローターアクト小委員会委員長
マルチプル・ポール・ハリスフェロー4回
第4回 米山功労者 マルチプル
ベネファクター

コーディネーターニュース



コーディネーター 2021年9月号 No.1 NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

コロナ禍での会員維持増強

東京オリンピックは終わりましたが、新型コロナウイルスの感染の猛威は止まりそうにありません。皆さまのクラブはこのコロナ禍でどのように活動されているのでしょうか。

ロータリーの活動を推進するうえで、会員の維持増強が重要なテーマであることは疑いを容れません。今年度のシェカール・メタRI会長は、「Each One, Bring One」のスローガンを掲げ、会員増強を強く呼びかけられていますが、コロナ禍で各地区とも苦戦を強いられているのが現実かと思えます。

そのような中、前年度末の6月27、28日に開催された第1第2第3地域合同の「クラブ活性化セミナー」では、会員維持増強に奮闘している地区・クラブが紹介されました。まずはこれまで会員増強に顕著な実績を挙げ、前年度もコロナ禍を跳ね飛ばして純増5名を達成した大宮西ロータリークラブ（第2770地区、染谷会員発表）から、「入会候補者カード」の活用、会長自ら入会候補者を説得する、クラブ内に共通の趣味を持つことなどで集まる部会制度を設けるといような様々な工夫が紹介されました。続いて最近の「ロータリーの友」でも特集されるなど、今注目を集めている衛星クラブの実例が二つ紹介されました。一つは「典型的な地方都市」を自認する北海道の岩見沢ロータリークラブ（第2510地区、西方会員発表）から市内の若い世代に働きかけて衛星クラブを創出し、自クラブを活性化した経験が発表され、また、全員がROTEX（青少年交換学友）という共通の基盤をもつ国際性豊かな会員で構成する衛星クラブを創出した東京北ロータリークラブ（第2580地区、浅田会員発表）の発表がありました。これらの発表を通じ、ロータリークラブにとって衛星クラブとは、単なる会員予備軍の獲得ではなく、ロータリークラブの新たな展開、発展の起爆剤であることを実感しました。さらに、ロータリーの「多様性」を語るうえで重要なキーワードである女性会員の拡大について、女性会員の比率では低位に属する第2680地区（梅原会員発表）から、女性の有業率など客観的な統計データから地区特有の状況を分析し、これからは従来の企業経営者や特別の資格を有する専門職だけではなく、意識が高く、奉仕の精神や思いやりの気持ちを持った「女性社会人全般」を視野に入れる必要があるとの発表があり、会員増強の在り方に一石が投げられたように感じました。

このクラブ活性化セミナーのデータは各地区に配信されています。参加されなかった会員が一人でも多く視聴されることを期待しています。必ずや皆さまのクラブの活性化のヒントを提供することができると確信しています。

第3地域 ロータリーコーディネーター 滝澤 功治（神戸須磨RC）



発行：Region 1 & 2 & 3
 ローターリーコーディネーター
 ローターリー公共イメージコーディネーター

「ロータリー奉仕デー」に参加しよう！地球環境保全プロジェクト（海岸清掃）について

2021-22年度に、シェカール・メータRI会長提唱のもと、国際ロータリーが全世界で実施を計画している「ロータリー奉仕デー」の一環として、Rotary TEAM JAPANは「地球環境保全プロジェクト」を展開します。これは、世界のロータリアンが同じ日に海岸や河川、湖沼の清掃をロータリーファミリーや他のボランティア団体、地域住民と共に実施するグローバルイベントです。

「環境」は、国際ロータリーの7番目の重点項目となりました。

そこで国際ロータリー第2820地区は、以前より計画していた海岸線の一斉清掃を9月12日（日）に近隣の地区と一緒に実施します。この計画を日本全国の地区に広めていく計画で、国際ロータリーもこの計画を推奨しております。

この取り組みを、第2820地区のみならず、全国的に拡大する事ができれば、素晴らしい事業になるのではないかと予感しております。

現在日本のロータリーは、課題として、会員増強と公共イメージの向上に取り組んでおります。もちろん、他にも重要な課題があることは承知しておりますが、個人的には、この2つを重要視しております。

会員拡大には、ロータリークラブ自身の魅力、会員自身の充実感、満足感がなければなりません。また地域社会の皆さま方からの認知・評価等も重要な要素であると思います。Each One, Bring Oneは、会員自身にロータリーに対する評価がなければ、難しいでしょうし、地域社会からの肯定的評価がなければ、これまた困難だと思えます。

ロータリアン自身の意欲を喚起し、地域社会からの良い評価をうけるために、各地区、各クラブはそれぞれ努力されてきたと思います。しかし、その結果は物足りなさを感じておられるのではないかと感じております。

会員の意欲を高め、地域社会の認知度を高める一つの方法として、「ロータリー奉仕デー」のプロジェクトを活用してみれば、如何でしょうか！

各地区、各クラブの皆さまのご検討、ご理解をお願い申し上げます。

第3地域 ローターリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一（新居浜RC）

2021-2022 地区内主要行事

月	日	曜日	曜日	開催方式	場 所	担 当
10	22	金	地区大会記念ゴルフ大会	中 止	益子カントリー	ホスト:真岡RC
10	23	土	2021-22地区大会 会長 幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	中 止	フォーシーズン静風	〃
10	24	日	2021-22地区大会 本会議		市民"いちご"ホール	〃
11	7	日	米山カウンセラー研修会			地区米山記念奨学会委員会
11	20~22	土~月	RYLAセミナー			
11	27	土	米山面接官オリエンテーション			地区米山記念奨学会委員会
11	27	土	地区ローターアクトクラブ年次大会	オンラインor ハイブリット方式	ホテルニューイタヤ	地区ローターアクトクラブ
12	12	日	2022学年度米山記念奨学生面接選考試験		ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
12	12	日	20-21年度派遣学生 オリエンテーション	中 止	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
12	19	日	第2回諮問委員会 ガバナーエレクト壮行会		ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所

2022年

月	日	曜日	曜日	開催方式	場 所	担 当
2	6	日	第3回諮問委員会		ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	6	日	第2回地区運営委員会		ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所

地区大会開催のご案内

2021年10月24日(日)

10/24(日) | 地区大会本会議

主催:真岡ロータリークラブ

コ・ホスト:益子ロータリークラブ・真岡西ロータリークラブ
しもつけロータリークラブ



2021-2022年度
地区大会実行委員長
岡本 俊夫
【真岡ロータリークラブ】

国際ロータリー第2550地区2021-2022年度石田順一ガバナーより、地区大会実行委員長の命を受け地区内先輩ロータリアンの御指導を仰ぎ乍ら、実現に向けて邁進して参りましたが、刀折れ矢尽きの心境であります。

コロナ禍のイベント開催が、これ程までに困難なのか痛切に感じております。従って地区大会の開催方法を前年度森本敬三ガバナーの運営を踏襲させて頂き縮小しての開催とさせて頂きたく存じます。地区内ロータリアンの皆様には衷心より御理解を賜ります様、御案内申し上げます。



RI会長代理紹介

すずき たかし
鈴木 喬氏

国際ロータリー第2580地区
東京江北ロータリークラブ

1942年(昭和17年)8月19日生
株式会社鈴木商事 代表取締役
国際ロータリー第2580地区2015-2016年度ガバナー
元日本のロータリー100周年実行委員会記念事業等
委員会委員長
公益財団法人「米山梅吉記念館」理事

12:30	受付・登録開始
13:25	オープニングビデオ放映
13:28	R I 会長代理ご夫妻入場
13:30	開会の点鐘 国歌斉唱・ロータリーソング斉唱 物故者黙祷 開会の言葉 歓迎の言葉 R I 会長代理ご夫妻紹介 バストガバナー他紹介
13:40	ガバナー挨拶並びに現況報告
13:55	R I 会長代理挨拶並びに R I 現況報告
14:15	地区会計収支及び監査報告承認
14:20	大会委員会報告並びに上程 登録委員会 資格審査委員会 決議委員会 大会決議案採択 選挙管理委員会
14:35	記念事業目録贈呈
14:45	来賓祝辞 祝電披露
15:00	…… 休憩 ……
15:30	記念演奏
15:40	ガバナー補佐紹介 地区内クラブ紹介
15:55	各種表彰
16:00	記念品贈呈 R I 会長代理ご夫妻に記念品贈呈 直前ガバナー・地区幹事・直前会計長に記念品贈呈 新人会員紹介
16:15	ガバナーエレクト・ガバナーノミニー紹介 ガバナーエレクト挨拶 ガバナーノミニー挨拶
16:25	次期地区大会ホストクラブ紹介・ビデオ放映
16:30	R I 会長代理所感 ガバナー謝辞 閉会の言葉
16:40	閉会の点鐘



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15

バルヴィ宇都宮内1F

TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : <http://www.rid2550.com/>